

令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

選択科目(ステージⅡ) ※地域創生イノベーター育成プログラム(東予) 開講科目を選択してオンライン受講 など

ステージ	年	月	日	曜日	時限	科目名	講義題目	担当	受講方法			
Ⅱ 問題解決の方法を学ぶ	令和6年	9	21	土	3	SDGsの推進に向けて	SDGsの概要と意義	愛媛大学 SDGs推進室 副室長	小林 修	同期型(オンライン受講)		
					4		HOTEL WHYから学ぶサステナブルな社会	㈱BIG EYE COMPANY・Chief Environmental Officer(CEO)	大塚 桃奈			
		9	28	土	1	変動する社会 -DX・カーボンニュートラル・レジリエンス-	地域と連携した「防災」と「まちづくり」の担い手育成	愛媛大学 防災情報研究センター長	NETRA Prakash Bhandary			
					2		新しい働き方の創造と未来社会	総務省 地域情報化アドバイザー / 地域力創造アドバイザー	加藤 遼			
					3		持続可能な地域経済社会(RX)の実現に向けて	四国経済産業局 地域経済部長	熊野 哲也			
					4		Town&Gownの推進と未来社会の構築	広島大学 理事 (Town&Gown Office 室長)	金子 慎治			
		5	土	2	科学技術における インクルージョン	多様な知識が共創する「地域レジリエンス学環」入学のすすめ	愛媛大学 地域レジリエンス学環 副学環長	森脇 亮				
				3		イノベーションマッチングと人材創出	島根大学地域未来協創本部 産学連携部門 准教授	服部 大輔				
				4		愛媛大学における産学民官連携の動向とプロジェクトマネジメント	愛媛大学 産学連携推進センター リサーチファンド獲得支援 部門長	入野 和朗				
		10	12	土	海事・ グリーンイノベーション を巡る動向	1	新たな海洋・海事の国際的拠点創出に向けて	(公財)笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員	小森 雄太			
						2	未定(グリーンイノベーション)	未定	(人選未定)			
						3	海洋科学掘削で探る地球の深部	海洋研究開発機構(JAMSTEC) 主任研究員	阿部 なつ江			
						4	瀬戸内海を活用したクルーズ展開	瀬戸内海汽船(株) 代表取締役 役社長	仁田 一郎			
			26	土		1	地域循環共生圏の構築及び脱炭素先行地域の選定動向	環境省中国四国地方環境事務所 環境対策課	(人選未定)			
						2	海事業界を取り巻く環境と海事行政の取り組み	国土交通省 四国運輸局長	河野 順			
						3	カーボンニュートラルに向けたエネルギー科学技術	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 副所長	松本 広重			
						4	地域洋上風力発電の展望	秋田洋上風力発電(株) 総務人事部長	牛丸 広大			
		11	2	土	地域資源活用の ダイナミクス	1	神山まるごと高専の開校	学校法人神山学園 理事 (NPO法人グリーンバレー理事)	大南 信也			
						2	地域連携におけるアートマネジメントの活用	鳥取大学 地域価値創造研究機構 地域創生教育推進室長	石田 陽介			
						3	伯方島を中心とした「しまなみ未来地域づくり」(仮称)	(公財)えひめ地域活力創造センター(※他法人の可能性あり)	(人選未定)			
						4	食を中心とした持続可能なまちづくりの推進	NPO法人さずな 理事 (受講者還流枠)	山内 章正			
			16	土	地域創生に向けた 研究シーズ	1	愛媛県の紙産業の課題と紙産業イノベーションセンターの取組	愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長	内村 浩美			
						2	愛媛県の養殖業の課題と南予水産研究センターの取組	愛媛大学 南予水産研究センター 副センター長	後藤 理恵			
						3	文化資源マネジメントと観光まちづくり	愛媛大学 地域共創研究センター 副センター長	井口 梓			
						4	地域包括ケアの推進	愛媛大学 地域協働センター 中予 副センター長	藤村 一美			
			30	土	1	全体最適を目指したスマートなまちづくり	広島大学 先進理工系科学研究科 教授	田中 貴宏				
					2	デジタル技術を活用したスマート農業	広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授	三本木 至宏				
					3	美味しさを科学する	広島大学 大学院人間社会科学部 准教授	富永 美穂子				
					4	実践的な時間健康科学を地域社会に生かす	広島大学 大学院医系科学研究科 准教授	田原 優				
		自らの関心に応じたシンポジウム、スキルアップ講座、市民講座等(12時間を上限とする)									・ 同期型 ・ 対面型	

1限目	09:00~10:30
2限目	10:50~12:20
3限目	13:30~15:00
4限目	15:20~16:50